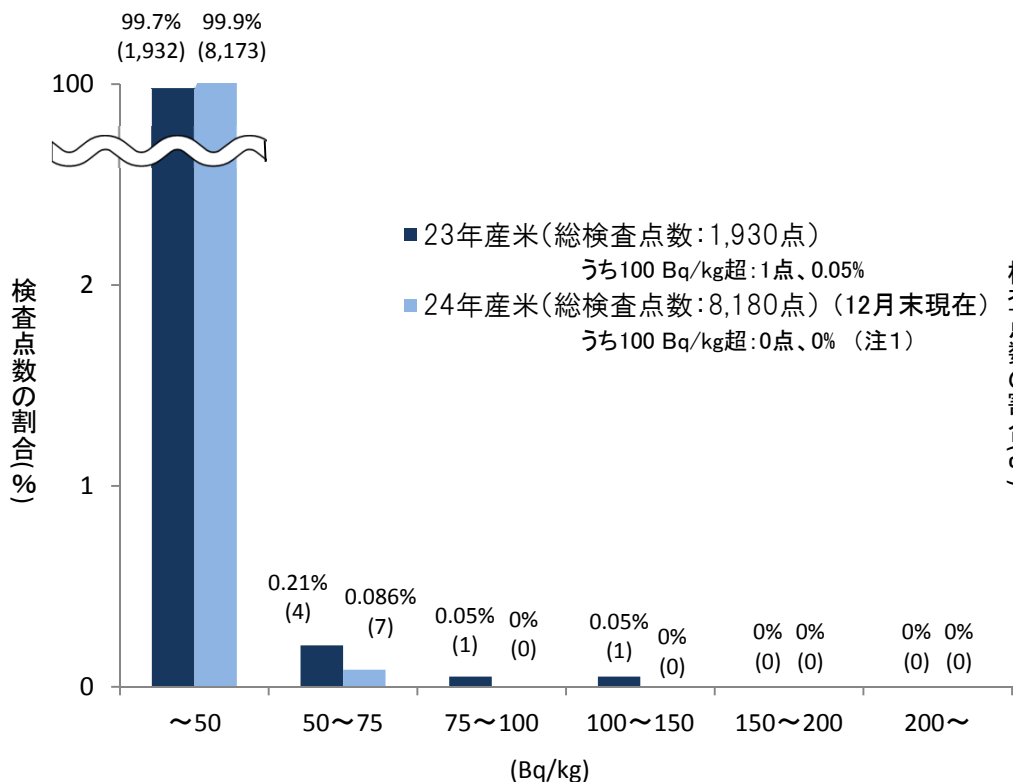


24年産米の放射性物質の検査結果

- 24年産米の放射性セシウム濃度は、23年産米に比べて全体的に低減。
- カリ施肥など放射性物質の吸収抑制対策の効果が見られた一方で、対策を徹底していなかったことにより基準値を超過した事例が散見された。

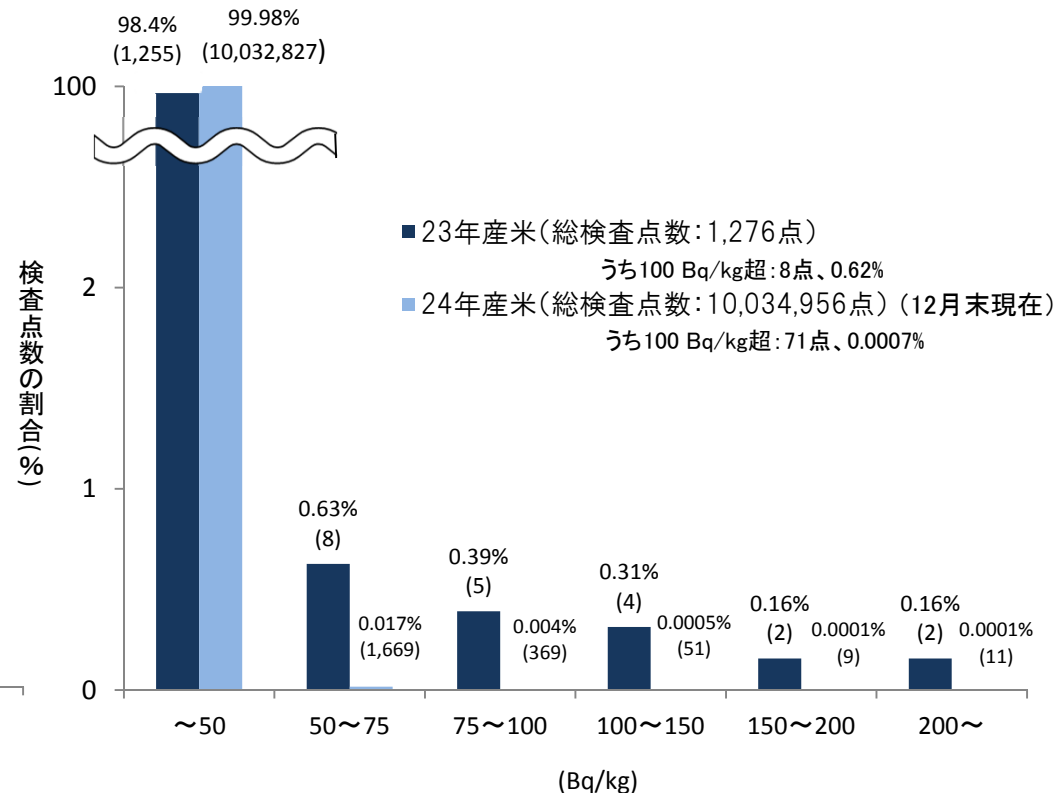
23年産米と24年産米の放射性セシウム濃度分布(割合)

16都県(福島県を除く)



(注1) 放射性物質検査の終了後、宮城県栗原市旧沢辺村で生産された米13袋(同一農家)の自家用米から基準値を超える放射性セシウム(最高値240 Bq/kg)を検出。

福島県



(注2) かつこ内の数値は検査点数。

(注3) 23年産米のデータは本調査、24年産米のデータは全袋検査のもの。